

【林讓 先生著作・業績目録】

共編著

- ・『宸翰英華』別篇北朝 一九九二年八月 思文閣出版 解説
七九・八七・九一・九四・九五・一〇二・一〇三号
- ・『御物』Ⅱ書跡Ⅱ 一九九二年一月 毎日新聞社 解説九二
〜九七・九九〜一〇三号
- ・『鶴岡八幡宮年表』 一九九六年四月 鶴岡八幡宮 担当南北朝
時代
- ・『静岡県史』通史編二中世 一九九七年三月 静岡県 第一編
第四章第五節・第二編第五章第三節
- ・『東山御文庫御物』三 一九九九年一月 毎日新聞社 解説
一三五〜一三七号
- ・『金沢市史』通史編Ⅰ原始・古代・中世 二〇〇四年三月 金
沢市 第三編中世第一章第一節一・三、第二章第二節一・二
- ・『二宮町史』通史編Ⅰ古代中世 二〇〇八年三月 栃木県二宮
町 第六章
- ・『三重県史』通史編中世 二〇二〇年三月 三重県 第二章第
二節3〜5

論文

- ・『三条坊門油小路道場西興寺をめぐる―時衆のいくつかの異
流について―』（『仏教史学研究』第三二巻第二号）一九八八
年十一月

- ・『黒衣の僧について―鎌倉・南北朝期における通世の一面―』（小
川信先生の古稀記念論集を刊行する会編『日本中世政治社会の
研究』）一九九一年三月 続群書類従完成会
- ・『僧か時衆か』（『歴史学研究』月報第三八三号）一九九一年
一月

- ・『花押覚書―研究の周辺―』（『歴史と地理』第四四二・四四五号）
一九九二年六月・九月

- ・『瑩山紹瑾の花押覚書』（『加能史料会報』第七号）一九九四年
三月（『加賀・能登歴史の窓』一九九九年一月 石川史書刊
行会に再録）

- ・『源頼朝の花押について―その形体変化と治承・寿永年号の使
用をめぐる―』（『東京大学史料編纂所研究紀要』第六号）
一九九六年三月

- ・『一向一揆以前―加賀・能登の時衆―』（『加能史料研究』第二〇号）
一九九八年三月

- ・『大谷廟堂から本願寺へ』（『週刊朝日百科日本の国宝』第六四号）
一九九八年五月 朝日新聞社

- ・『諏訪大進房円忠とその筆跡―室町幕府奉行人の一軌跡―』（皆
川完一編『古代中世史料学研究』下）一九九八年一〇月 吉
川弘文館

- ・『Le problème des paraphes calligraphiques ,kao,et l'état
actuel de la recherche au Japon』（翻 訳 Michel Vieil-
lard-Baron『L'écriture du nom propre』）一九九八年
L'HARMATTAN 社

- ・「他阿弥陀仏から他阿弥陀佛へ―遊行上人書状の書札礼―」（『日本歴史』 第六一〇号） 一九九九年三月
- ・「一遍の踊り念仏研究ノート―特に歳末別時念仏との関連を中心に―」（『時宗教学年報』 第二八輯） 二〇〇〇年三月
- ・「花押の計測処理について―足利直義の花押を事例として―」（『科学研究費研究成果報告書』『花押画像のデータベース構築とその計測処理とに関する基礎的研究』 二〇〇〇年三月 東京大学
- ・「一遍の宗教覚書―特にその名前をめぐって―」（大隅和雄編『中世の仏教と社会』 二〇〇〇年七月 吉川弘文館
- ・「東京大学史料編纂所所蔵『花押カード』のデータベース構築とその公開について」（『月刊IM』 第三九巻第九号） 二〇〇〇年八月 日本画像情報マネジメント協会
- ・「仁和寺御経蔵文書聖教典籍類の紙背文書について」（『科学研究費研究成果報告書』『真言宗寺院所蔵の典籍文書の総合的調査研究―仁和寺御経蔵を対象として―』 二〇〇一年三月 東京大学
- ・「伏見天皇宸翰唯識三十頌」（『仁和寺御経蔵の典籍文書』 二〇〇二年四月 仁和寺御経蔵典籍文書調査団
- ・「一遍の引き連れた門弟、時衆について」（中尾堯編『中世の寺院体制と社会』 二〇〇二年二月 吉川弘文館
- ・「時衆」について」（大隅和雄編『仏法の文化史』 二〇〇三年一月 吉川弘文館
- ・「日本全土への遊行と賦算―捨聖と呼ばれた意味・時衆を引き連れた意味―」（今井雅晴編『遊行の捨聖 一遍』 二〇〇四年三月 吉川弘文館
- ・「踊り念仏の開始と展開―一遍と時衆におけるその意義―」（今井雅晴編『遊行の捨聖 一遍』 二〇〇四年三月 吉川弘文館
- ・「花押彙纂」データベースについて」（『東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信』 第二五号） 二〇〇四年四月 東京大学
- ・「総持寺と曹洞宗の発展」（『図説門前町の歴史』 二〇〇四年二月 石川県門前町
- ・「熊谷直実の出家と往生とに関する史料について―『吾妻鏡』史料批判の一事例―」（『東京大学史料編纂所研究紀要』 第一五号） 二〇〇五年三月
- ・「禅僧の花押について―宗峰妙超等を事例として―」（『禅宗寺院文書の古文書学的研究―宗教史と史料論のはざま―』 二〇〇五年三月 東京大学
- ・「能登路の時衆の重要性」（『新修門前町史』 通史編） 二〇〇六年一月 石川県門前町
- ・「花押と筆跡研究の可能性―花押類似検索システムとその課題―」（『科学』 第七六巻第二号） 二〇〇六年二月
- ・「花押画像のデータベース構築とその計測処理とに関する基礎的研究」（『荘園絵図の史料学とデジタル画像解析の発展的研究』 〔日本歴史』 第六九三号） 二〇〇六年二月
- ・「一遍上人絵詞伝」制作の背景覚書―手取川河畔の情景を手掛かりとして―（加賀・能登 歴史の扉） 二〇〇七年一月 石川県

- ・「Les paraphes calligraphies (kao,shohan) et les paraphes imprimés (oshide,kao-in)」(翻訳「リアンヌ・シモン＝及川」)
(「リアンヌ・シモン＝及川編著『L'écriture reinventée』
二〇〇七年二月 Les Indes savantes (Paris)
- ・研究成果報告書「荘園絵図の史料学とデジタル画像解析の発展的研究」第一章研究の概要、第二章研究成果の概要(二〇〇四年度～二〇〇七年度科学研究費補助金基盤研究(A)「荘園絵図の史料学とデジタル画像解析の発展的研究」二〇〇八年三月 東京大学
- ・「古文書料紙の使用法覚書(一)——御判御教書と御内書——」(二〇〇三年度～二〇〇五年度科学研究費補助金基盤研究(A)研究成果報告書「紙素材文化財(文書・典籍・聖教・絵図)の年代推定に関する基礎的研究」二〇〇八年三月 富山大学
- ・「禅僧の花押について——宗峰妙超等を中心として——」(広瀬良弘編「禅と地域社会」)二〇〇九年三月 吉川弘文館
- ・「大江広元とその筆跡」(湯山賢一編「文化財と古文書学——筆跡論——」)二〇〇九年三月 勉誠出版
- ・「源頼朝第一筆蹟について」(「鎌倉遺文研究」第四二号)二〇〇九年四月
- ・「東京大学史料編纂所における研究資源の利活用と保全について」(「人間文化研究情報資源共有化研究会報告集」三)二〇一二年三月 人間文化研究機構情報資源共有化事業委員会
- ・「源頼朝文書の自筆説を考える——平盛時の花押と筆跡を手掛かりとして——」(「頼朝と重源——東大寺復興を支えた鎌倉と奈良の絆——」二〇一二年七月、奈良国立博物館)
- ・「信濃守護小笠原政康に充てた將軍足利義教自筆御内書」(「歴史読本」五七巻一―号、二〇一二年一月、新人物往来社)
- ・「科学研究費基盤研究(S)「史料デジタル収集の体系化に基づく歴史オントロジー構築の研究」の研究成果」(「東京大学史料編纂所研究成果報告二〇一三―二史料デジタル収集の体系化に基づく歴史オントロジー構築の研究 研究成果報告書」二〇一三年六月 東京大学
- ・「古文書調査から文化財総合調査へ」「古文書・聖教」(醍醐寺文化財研究所編「醍醐寺文化財調査百年誌——醍醐寺文書聖教」国宝指定への歩み)二〇一三年八月 勉誠出版
- ・「建久二年の鶴岡八幡宮再建に際して、遡って寿永年号を使用し所領を寄進した「正文」(「歴史読本」五九巻一〇号)二〇一四年八月
- ・「自分の花押をつくってみよう」(東京大学史料編纂所編「日本史の森をゆく——史料が語るとっておきの42話——」二〇一四年二月 中央公論新社
- ・「天文日記」の記号覚書」(東四柳史明編「地域社会の文化と史料」)二〇一七年二月 同成社
- ・「古文書料紙の使用法覚書——御判御教書と御内書——」(湯山賢一編「古文書料紙論叢」)二〇一七年六月 勉誠出版
- ・「源頼朝袖判平盛時奉書(佐々木文書)」について——正文と写の史料学——(「駒沢史学」第九四号、二〇二〇年二月)
- ・「源頼朝寄進状・足利義教自筆御内書」(日本古文書学会編「古

文書への招待』二〇二一年二月 勉誠出版)

・「花押と文書から探る石清水ネットワーク」(『稽古照今・石清水歴史探訪選』講演録 文化燦燦』第一号、二〇二二年一月 石清水崇敬会)

・「瑩山紹瑾の佛慈禅師諡号口宣案について」(『駒沢史学』第一〇一号、二〇二三年二月)

書評・その他

・橋本初子著『中世東寺と弘法大師信仰』(『古文書研究』第三六号) 一九九二年一〇月

・田中稔著『中世史料論考』(『古文書研究』第三九号) 一九九四年一〇月

・小川信著『足利一門守護発展史の研究 新装版』(二〇一九年一〇月、吉川弘文館)

研究発表

・「花押(書判)と押手(花押印)」(パリ第七大学文字研究センター・フランス国立東洋語東洋文化研究院・フランス極東学院共催国際シンポジウム「文字文化の再創造―西洋と極東における文字の視覚的形態―」、二〇〇一年四月、於日仏会館)

・「禅僧の花押について」(ダルマ会、二〇〇一年六月、於東京大学史料編纂所)

・「熊谷直実の出家と往生について―その花押と筆跡を手掛かりとして―」(ダルマ会、二〇〇三年三月、於東洋大学)

・「禅僧の花押について―宗峰妙超等を事例として―」(『禅宗寺院文書の古文書学的研究 国際研究シンポジウム』、二〇〇四年一〇月、於東京大学史料編纂所)

・「人物情報研究の成果と課題」(『前近代日本の史料遺産プロジェクト』第五回公開研究会、二〇〇五年二月、於東京大学史料編纂所)

・「花押纂纂・崩し字プロジェクト」(画像史料解析センターの成果と課題」(東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター開設一〇周年記念研究集会、二〇〇七年六月、於東京大学山上会館)

・「筆跡研究の可能性について―検討の要ありとされる頼朝文書『平安遺文』四二二六号』を事例として―」(鎌倉遺文研究会第一三四回例会、二〇〇七年九月、早稲田大学文学部第二研究棟)

・「大江広元とその筆跡」(日本古文書学会第四〇回学術大会シンポジウム、二〇〇七年一〇月、日本女子大学新泉山館)

・「中世の恵日寺について」(ダルマ会、二〇〇八年一月、於東洋大学六号館)

・「科学研究費基盤研究(S)「史料デジタル収集の体系化に基づく歴史オントロジー構築の研究」(東京大学史料編纂所シンポジウム「研究と情報の資源化―史料編纂所大型プロジェクトの進捗―」、二〇一〇年一月、於東京大学山上会館)

・「デジタル史料画像の検索・閲覧システムについて―科学研究費基盤研究(S)「史料デジタル収集の体系化に基づく歴史オ

ントロジー構築の研究」の現状―(第四四回日本古文書学会大会、二〇二一年九月、於国学院大学)

講演

- ・「一遍のめざしたもの」「一遍は何故時衆を引き連れたのか」(藤沢市遊行フォーラム、二〇〇一年一二・二月、於藤沢市清浄光寺)
- ・「花押と筆跡の史料学―カタチをみる・カタチからみる―」(第六回史料学セミナー、二〇〇一年一二月、於東京国立博物館)
- ・「カタチをみる・カタチからみる―鎌倉・南北朝の花押を中心として―」(朝日カルチャーセンター公開講座 史料から日本史を読む―時を超えて語るもの―、二〇〇二年一月、於朝日カルチャーセンター東京)
- ・「熊谷直実の出家と往生について―その花押と筆跡を手掛りとして―」(直実・蓮生を学ぶ会、二〇〇三年二月、於埼玉県熊谷市立熊谷図書館)
- ・「中世武家の花押と筆跡―花押作成の試みの前提として―」(金沢文庫「鎌倉幕府滅亡」展冬期講座、二〇〇三年二月、於神奈川県立金沢文庫)
- ・「今日は、自分の花押(サイン)を作って帰ろう―モノとしての史料研究の可能性―」(日本学術振興会「ときめき☆ひらめきサイエンス―史料から見る日本の歴史―」、二〇〇五年一月、於東京大学史料編纂所)
- ・「蓮生その後」(直実・蓮生を学ぶ会、二〇〇六年一二月、於埼玉県熊谷市立熊谷図書館)

・「中世の慧日寺について―東京大学史料編纂所データベースの紹介を兼ねて―」(磐梯山慧日寺資料館歴史講座、二〇〇七年九月、於福島県磐梯町中央公民館)

- ・「鳥取県と東京大学史料編纂所の歴史研究―荘園絵図プロジェクトとその活動―」(鳥取県民カレッジ連携講座「デジタル画像システムでたどる湯梨浜町の歴史―東郷莊絵図から七五〇年―」、二〇〇七年一月、於鳥取県湯梨浜町アロハホール)
- ・「談義所宗光寺の活動とその新地再興年次の再検討」(第一九回にのみや歴史講座、二〇〇八年一月、於栃木県二宮町公民館)
- ・「地域史・人物史に期待するもの」(加能地域史研究会創立三〇周年記念研究シンポジウム基調講演、二〇〇八年一二月、於石川県金沢市金沢真宗会館)
- ・「金堂の諸相―古代・中世の慧日寺を考える視点―」(磐梯山慧日寺資料館歴史講座、二〇一〇年一〇月、於磐梯山慧日寺資料館)
- ・「『天文日記』を史料論的に考える」(講座『加能史料』はいま、二〇一三年一二月、於石川県立図書館)
- ・「真言と禅―山の信仰を事例として中世の慧日寺を探る―」(磐梯山慧日寺資料館歴史講座、二〇一五年一一月、於磐梯山慧日寺資料館)
- ・「武蔵野の中世を探る―東京大学史料編纂所の紹介を兼ねて―」(武蔵野市特別講座、二〇一六年一〇月、於武蔵野市立ふるさと歴史館)
- ・「花押と文書から探る石清水ネットワーク」(石清水崇敬会文化

講座、二〇一九年二月、於石清水八幡宮)

科学研究費補助金などの共同研究

(一) 研究代表者

・奨励研究(A)「遊行上人自筆史料の網羅的蒐集とその基礎的研究」(一九九〇年度)

・基盤研究(A)(2)「花押画像のデータベース構築とその計測処理とに関する基礎的研究」(一九九六年度～一九九九年度)

・基盤研究(A)(2)「荘園絵図の史料学とデジタル画像解析の発展的研究」(二〇〇四年度～二〇〇七年度)

・基盤研究(S)「史料デジタル収集の体系化に基づく歴史オン・トロジー構築の研究」(二〇〇八年度～二〇一三年度)

・基盤研究(A)「前近代人物情報論の構築にむけた花押・筆跡の網羅的収集と汎用的利用に関する研究」(二〇一七年度～二〇一八年度)

(二) 研究分担者

・一般研究(B)「西日本における中世社会と宗教との総合的研究」(研究代表者小泉宣右、一九八三年度～一九八四年度)

・一般研究(A)「京畿内荘園のデータベース作成と歴史地理学的研究」(研究代表者石上英一、一九八七年度～一九八八年度)

・一般研究(A)「中世・近世肖像画の調査・データベース化と歴史図像学的研究」(研究代表者黒田日出男、一九九二年度～一九九五年度)

・基盤研究(A)「真言宗寺院所蔵の典籍文書の総合的調査研究―仁和寺御経蔵を対象として―」(研究代表者月本雅幸、一九九七年度～二〇〇〇年度)

・基盤研究(A)「古典籍自筆本の集成とその科学的判定法に関する基礎的研究」(研究代表者松野陽一、一九九七年度～一九九八年度)

・基盤研究(B)(2)「荘園絵図史料のデジタル化と画像解析的研究」(研究代表者黒田日出男、二〇〇〇年度～二〇〇一年度)

・COE形成基礎研究・特別推進研究(COE)「前近代日本史料の構造と情報資源化の研究」(研究代表者石上英一、二〇〇〇年度～二〇〇四年度)

・観智院金剛蔵聖教文書データベース作成委員会「東寺観智院金剛蔵聖教文書データベース」(研究代表者富田正弘、二〇〇二年度)

・基盤研究(A)(2)「禅宗寺院文書の古文書学的研究―宗教史と史料論のはざま―」(研究代表者保立道久、二〇〇二年度～二〇〇四年度)

・国文学研究資料館共同研究「文化情報資源の共有化システムに関する研究」(研究代表者安永尚志、二〇〇四年度～二〇〇六年度)

・基盤研究(A)「日本古文書ユニオンカタログの構築」(研究代表者近藤成一、二〇〇五年度～二〇〇八年度)

・基盤研究(A)「日本前近代史料の国際的利用環境構築の研究」(研究代表者石上英一、二〇〇五年度～二〇〇八年度)

- ・基盤研究(A)「東国地域及び東アジア諸国における前近代文書等の形態・料紙に関する基礎的研究」(研究代表者山本隆志、二〇〇九年度～二〇一一年度)
- ・基盤研究(C)「近世琉球寺院の社会的機能の解明―私寺の分析を中心に―」(研究代表者下郡剛、二〇〇九年度～二〇一四年度)
- ・基盤研究(A)「画像解析とフィールドワークに基づく荘園絵図情報システムの構築」(研究代表者高橋敏子、二〇一〇年度～二〇一一年度)
- ・基盤研究(A)「ポーンデジタル画像管理システムの確立に基づく歴史史料情報の高制度化と構造転換の研究」(研究代表者山家浩樹、二〇一一年度～二〇一四年度)
- ・基盤研究(A)「歴史知識情報のオープンデータ化にむけたスキームと情報利活用手法の再構築」(研究代表者久留島典子、二〇一四年度～二〇一八年度)
- ・基盤研究(A)「原史料メタ情報の生成・管理体系の確立および歴史知識情報との融合による研究高度化」(研究代表者山家浩樹、二〇一五年度～二〇一八年度)
- ・基盤研究(C)「考古学との協業による、金石文資料の蒐集・分析に基づく琉球寺院原風景の復元的研究」(研究代表者下郡剛、二〇一五年度～二〇一八年度)
- 東京大学史料編纂所刊行史料集編さん(共編)
 - ・『花押かがみ』三(鎌倉時代二)～八(南北朝時代四) 一九八四

- 年三月～二〇一〇年三月 吉川弘文館
- ・『越後国郡絵図』二(瀬波郡)・三(釈文・解題・索引) 一九八五年四月・一九八七年六月
- ・『日本荘園絵図聚影』一上(東日本一)～五下(西日本二、補遺) 一九八八年三月～二〇〇二年二月 東京大学出版会
- ・東京大学史料編纂所影印叢書『島津家文書 歴代亀鑑・宝鑑』二〇〇七年 八木書店
- ・東京大学史料編纂所影印叢書『小笠原文書』二〇〇八年 八木書店
- ・『日本荘園絵図聚影』釈文編中世一 二〇一六年三月 東京大学出版会
- 自治体史料集編さん(共編)
 - ・『金沢市史』資料編一(古代中世二)・二(中世二)・一三(神社) 一九九六年三月～二〇〇一年三月 金沢市
 - ・『加能史料』室町Ⅱ～Ⅳ・戦国Ⅱ～Ⅴ 二〇〇〇年三月～二〇一七年三月 石川県
 - ・『新修門前町史』資料編一(考古 古代・中世)・二(総持寺) 二〇〇三年一〇月・二〇〇四年三月 石川県門前町
 - ・『三重県史』資料編中世二 二〇〇五年九月 三重県
 - ・『二宮町史』史料編一考古・古代中世 二〇〇六年三月 栃木県二宮町
 - ・『熊谷市史』資料編2 古代・中世 二〇一三年三月 熊谷市
 - ・『三重県史』資料編古代・中世 二〇一五年三月 三重県